

消防学校での基本的な行動

2008.中央分団 那智

2016.6.8 改正

【消防学校（派遣教官）での対応～基本編～】

- ① 訓練が始まる前には、必ずウォーミングアップを済ませておくこと。（※）直ちに操法演技が出来る状態
アップをする際に連続呼称は必須！ チームワークをアピールする為に覚えて損は無い。（参考例）
（指）左～！ 左～！ 左！・右！ （要）ソーレ！ （指）左～！ 左～！ 左！・右！ （要）ソーレ！
（指）連続呼称—————！ 呼称！・呼称！・呼称！ ソーレ！
（要）1！（指）ソーレ、（要）2！（指）ソーレ、（要）3！（指）ソーレ、（要）4！（指）ソーレ
（要）1、（指）オー（要）2、（指）オー（要）3、（指）オー（要）4、（指）オー
（要）1、2、3、4、1、2、3、4、
※指揮者から3回程度繰り返したら、後者（1番員）が指揮者と成り順次行う。
- ② 部長＝指揮者は訓練予定（役割）を団員に周知させ、訓練中は要員の体調管理・把握に努めること
- ③ 指導の始まり（公式の場合は団長・署長、指導教官の挨拶が終わり次第）
副団長の「別れ！」の後…即！指揮者は待機線に全団員を集める。
（指）集合！（1番員）基準！（指）気をつけ・休め（※）2列横隊で教官を待つ
（指）頭～中！直れ ※教官から「休め」の指示があれば（指）整列休めをかける。
ここからの訓練終了までの間、全ての行動（動作）が台本の無い操法演技となります。（※全員）
・教官より訓練指示が出た場合には教官の指示に従いますが…指示が無い場合を想定してあらかじめ、練習プランを幾つか用意して即答出来る様に準備しておくこと。 （※）自分達がこの訓練中に何を学びたいか？を、明白に言える様にしておく。皆さんの「熱意」を試されることがあります。
・教官の指導（命令）は全て「ハイ」と声に出す！ うなずきは絶対にダメ！ ※指揮者からの指示も同様に
・教官に呼ばれたら必ず駆け足で駆けつける ※指揮者からの集合指示も同様に
・団員への指示は操法同様に報告・命令口調で、内容と時間、何を何分行うかを盛り込んで指示を出す。
・訓練中は、笑顔は厳禁（全員）当然、私語もダメ 役割分担が必要、班長は要員以外の管理

（想定パターン） 教官より指示で、演技を見たいとなった場合

- （教）「それでは、皆さんの操法演技を見たいので…準備は出来ていますか？」（指）「ハイ・3分後に」最短
（教）「それではお願いします」（指）気をつけ、頭～中、直れ、で、教官を退席させのち、中央へ移動し指示
（指）「3分後に1本通します、各自準備を済ませること、要員は2分後に待機線に集合！」（全団員）「ハイ」
※班長は時間を計ること。全団員に時間経過を通達 例「集合1分前！・30秒前！」
要員は準備（車両・機具・服装）が終わり次第、待機線に集合「○番員準備完了！」と指揮者に報告。
（※）車両・機具点検・服装点検（2人組）の確認には、「ヨシ！」と言う声と指さしを活用
準備が整ったら大会同様に待機線にて休めで待機（※）教官が演技開始の合図をやらない場合は団員が対応
演技終了後は、即！指揮者は全員を待機線に集め、教官からの寸評（評価）を頂く

- ⑤ 休憩に入る際は、指揮者は一旦団員全員を集める。
（指）「ただ今より、〇〇分の休憩をとる！以上 分かれ！」「全員敬礼」で解散
時間はおおむね5～10分程度が好ましいが、選手の疲労度や訓練時間の割合に応じて対応すること。
解散後は班長が要員以外の団員に撤収・片付けの指示を出す。（ホースは絶対に引きずらない）
要員は休憩を早めに終え、待機線付近に待機していること（休憩10分であれば2分前に集合）
※上記に書いた対応策は、過去の教官指導を基にしました。 極論ですが…軍隊の兵隊だと思って下さい。